

事業団職員大募集

「私たちと一緒に働きませんか」



▶ 現在募集中

嘱託職員

嘱託体育指導員、嘱託栄養士、嘱託調理員、相談員、調理補助、病棟業務補助

お問い合わせ先

社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団
 総務部総務課 採用担当
 〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2
 電話番号 052-835-3811

最新の募集情報、待遇等の詳細は事業団ウェブサイトをご参照ください。

事業団ウェブサイト <http://www.nagoya-rehab.or.jp>



事業団公式Twitter

名古屋市総合リハビリテーション事業団@公式 ➡ @nagoya_rehab

事業所案内

・名古屋市総合リハビリテーションセンター
 ・福祉スポーツセンター
 ・障害者就労支援センター めいりは
 〒467-8622
 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2
 電話：052-835-3811 FAX：052-835-3745

なごや福祉用具プラザ
 〒466-0015
 名古屋市昭和区御器所通三丁目12-1
 御器所ステーションビル3F
 電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056

・瑞穂区障害者基幹相談支援センター
 ・地域活動支援センター つきみがおか
 〒467-0035 名古屋市瑞穂区弥富町月見ヶ岡5
 NTT西日本八事ビル1階
 電話：052-835-3848 FAX：052-835-3743

名古屋市障害者スポーツセンター
 〒465-0055
 名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地
 電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370

季刊

社会福祉法人
 名古屋市総合リハビリテーション事業団

オレンジロード

ORANGE
ROAD

2020年
春号
vol.24



事業団公式マスコットキャラクター
リはみん

INDEX

- ◆ 高次脳機能障害
リハビリテーション講習会
- ◆ 介護サービス事業者自己評価・
ユーザー評価事業表彰
- ◆ りはみんサロン(看護部市民公開講座)
(11~1月報告)
- ◆ ホスピタル・クラウンがやってきた!
- ◆ イベント情報
- ◆ 募集・事業所案内

発行：季刊オレンジロード編集委員会



高次脳機能障害 リハビリテーション講習会



実行委員長 松井理事長の開会挨拶

令和元年11月23日(土)に、中区役所ホールで、高次脳機能障害リハビリテーション講習会を開催しました。この講習会は、一般社団法人日本損害保険協会様の助成により全国各地で開催され、愛知県では平成15年度から毎年開催しているものです。当センターも愛知県の高次脳機能障害支援拠点機関として、実行委員会に参画して企画・運営を行っています。

第1部の基調講演として「高次脳機能障害支援の流れと社会的行動障害」と題し、京都大学医学部附属病院 精神科神経科の上田敬太先生にご講演いただきました。



第1部 座長 日比野附属病院長



第1部 基調講演 上田先生

高次脳機能障害としての社会的行動障害の典型的な症例や、その原因とそれぞれの対処法について、患者さんとのやりとりなどのエピソードも交えて、大変わかりやすくお話しいただきました。なぜその人にそのような社会的行動障害があるのかその仕組みを知ること(本人も支援者も)、失敗したやり方と成功したやり方の情報を積み重ねることで、生活場面でできるだけ負荷をかけない工夫につなげていくことが大切であると改めて感じました。

第2部は、今年度から愛知県の支援拠点機関となった「高次脳機能障害愛知県東部支援センター 笑い太鼓」の支援コーディネーター加藤氏が進行を行い「社会的行動障害への対応のヒント」というテーマで、当事者3名と、その方々の支援者に登壇していただきました。これまでどのような社会的行動障害があり、それに対してどのように向き合っているのか、支援者の方はどのように関わってこられたのか、今後どうしていきたいのか、率直なお話を伺うことができました。

当日は、栄でG20愛知・名古屋外務大臣会合が行われており、交通規制の影響などを心配していましたが、325名の方にご来場いただき、大きな混乱もなく講習会を行うことができました。運営について今回見直しが必要な部分は、反省点として来年度以降の講習会の開催に活かしていきたいと考えています。

当日講習会に携わっていただいた皆さま、ありがとうございました。

介護サービス事業者自己評価・ユーザー評価事業

10年連続参加事業者として 表彰されました



事業の概要

介護サービス事業者自己評価・ユーザー評価事業とは、名古屋市と名古屋市介護サービス事業者連絡研究会(名介研)が共催している事業です。介護保険事業者とその利用者が、介護保険サービスにおける評価指標についてお互いに評価を行い、その評価点数の差をもとに事業者が自らのサービスの点検を行うものです。

この事業は、事業者と利用者が協働して介護サービスの質を向上させることを目的に、平成13年度から始まりました。事業者は現状を把握して運営の改善につなげるほか、評価結果を公表することで利用者が事業者を選ぶ材料にもなっています。結果は名古屋市が運営する「NAGOYAかいごネット」で公開されています。

自己評価・ユーザー評価事業の結果

事業団の通所リハビリテーション部門は平成14年度から当事業に参加しており、令和元年度介護保険指定事業者講習会において、10年連続参加事業者として表彰されました。例年、利用者が重要視している項目で上位に挙げられているのは、①専門職(PT・OT・ST)

によるリハビリテーションの提供体制が整っていること(平成30年度22.1%)、②職員の対応に安心感・信頼感があること(平成30年度18.7%)でした。リハビリ専門職による機能訓練に特化したプログラムが私たちの強みであり、今後も継続して取り組んでまいります。

今後の課題

一方、自由記載欄には利用者から以下のご指摘をいただきました。

- ・リハビリの節目で目標達成の到達状況や課題を伝えてほしい(改善点など)。
- ・不満や苦情をじっくりと聞いてもらうことがほとんどない。
- ・マンネリ防止にリハビリ内容に変化を持たせてほしい。
- ・ワンポイントでよいので、リハビリの効果をフィードバックしてほしい。

サービス内容についてのご不満や苦情に関しても、全職員が丁寧な対応をするよう努め、これからも安心してご利用いただけるように努力してまいります。

令和元年11月12日(火)

りはみんサロン

☆☆☆

「第5回看護部 市民公開講座」を 開催しました!

「冬に備えるスキンケア対策」をテーマに第5回看護部市民公開講座を開催しました。皮膚の乾燥を防ぐための生活の工夫や保湿剤の使い方、皮膚にやさしい湿布やテープの剥がし方を講義と体験を交えてお伝えしました。36名の参

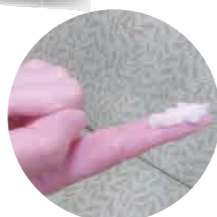


加があり、和気あいあいとした楽しい雰囲気です。スキンケアの方法を学んでいただきました。皮膚の乾燥予防にはクリームや軟膏などの保湿剤を使用することが効果的ですが、適正な使用量と塗り方は意外と知られていないようでした。

保湿剤の使い方

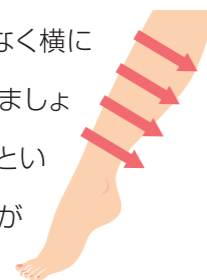
ポイント1

クリームや軟膏は人さし指の第1関節分の量で手のひら2枚分の範囲を塗りましょう。



ポイント2

塗り方は、腕や足は縦ではなく横に滑らせるようにのばし塗りましょう。皮膚の「皮溝(ひこう)」といわれる溝に沿って塗ることが大切です。



参加された方からは「身近な事柄のテーマ、ありがとうございました」「塗り方がよく分かりました」「また出席したいです」という感想をたくさんいただきました。今後も、地域の方の健康と生活に密着したテーマで続けていきたいと思っております。

令和元年12月3日(火) りはみんサロン

「あなたは大丈夫? ロコモティブシンドローム」

頭と体の
元気シリーズ 1



「ロコモ」(ロコモティブシンドローム)とは、骨・関節・筋肉といった運動器機能が衰えることにより「立つ」「歩く」といった機能が低下している状態、いわゆる足腰が弱った状態を指します。

今回は「ロコモ」についてテストや講義、ストレッチを実施しました。講義は、保健師よりロコモについて、食事、生活環境での工夫点のご紹介や必要な栄養素をイメージできるようにフードモデルを使用した演習を行いました。またロコトレでは、体育指導員より2種類の運動を紹介、実践しました。

参加者の皆さんは日ごろの生活を振り返るきっかけになったようで「今より良い食事をとるためには」「運動機能を落さないようにするためには」などを考えながら、熱心な様子で話に聴き入っていました。



頭と体の
元気シリーズ 2

令和2年1月7日(火)
りはみんサロン

「いつまでも元気でいたいから Let's 頭の体操!」

今回は「頭と体の元気シリーズ」の第2弾として、公認心理師より認知機能に関する講義と、頭の体操の演習課題を行いました。

認知機能や認知症に関することがテーマであったこともあり、参加者の皆さんは講義を熱心に聴き入っていました。

また「やってみよう練習帳」として「よく見る練習」「頭の体操」などの課題を10問準備し、配布しました。時折「難しい!」などの声が上がりましたが、皆さん集中して問題集に取り組んでいました。



ホスピタル・クラウンがやってきた!



令和元年11月27日に附属病院第一病棟デ－ホールにホスピタル・クラウンがやってきました。
この催しは瑞穂文化小劇場の施設事業「おでかけぶんしん」の一環で、昨年度に引き続き2回目の開催です。当日は多くの患者さん・利用者さんを変えたパフォーマンスを披露していただきました。多くの方に参加いただき、楽しいひとときを過ごしていただけたかと思ます。く～り～さんはじめ、ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。

おでかけぶんしんとは?

病院・施設など、劇場に足を運ぶことが難しい方の生活圏内に訪問し、各種パフォーマンスを行っています! 今回はNPO法人日本ホスピタル・クラウン協会より「く～り～」さんにお越しいただき、パフォーマンスを披露していただきました。



く～り～さん

イベント情報

第17回名古屋市障害者スポーツ大会 (陸上競技・フライングディスクの部)

日時: 令和2年5月10日(日)

場所、対象者、申込方法等の詳細は事業団ウェブサイトまたは下記問い合わせ先へ。
問い合わせ: 名古屋市障害者スポーツセンター 電話: 052-703-6633 FAX: 052-704-8370

上記の他、大会情報は随時事業団ウェブサイトに掲載しますので、ぜひご覧ください。



前期家族介護者教室 楽しく介護のすすめ～心と体の健康講座～

名古屋市内北部・東部・西部・南部・中部で実施。各4回。

対象者: 介護に関心のある方

◆ 東部介護者教室 テーマ「楽しく学ぶ 健康管理と障害者スポーツ」

場所: 名古屋市障害者スポーツセンター 定員: 40名

- ① 令和2年5月19日(火) 足ゆびストレッチ&トレーニング～生涯自分の足で歩くために～
- ② 令和2年5月26日(火) 知っておきたい、高齢者に多い病気とその対応
- ③ 令和2年6月2日(火) 生活習慣を整えて熱中症対策!
- ④ 令和2年6月9日(火) 障害者スポーツを知ろう～障害者スポーツセンターの見学と体験～



◆ 南部介護者教室 テーマ「排泄よろず相談」

場所: 名古屋市総合リハビリテーションセンター 定員: 30名

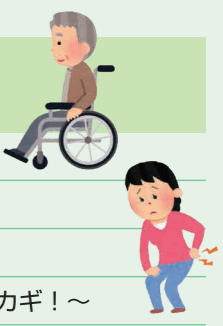
- ① 令和2年6月5日(金) 排泄動作と介助方法
- ② 令和2年6月12日(金) おむつの選び方・使い方
- ③ 令和2年6月19日(金) 排泄の悩みを薬から考える～改善できる薬、副作用を悪化させる薬～
- ④ 令和2年6月26日(金) おむつ使用時のスキントラブル予防



◆ 北部介護者教室 テーマ「家族のための介護技術」

場所: 名古屋市総合社会福祉会館 定員: 20名

- ① 令和2年7月4日(土) 起き上がりと移乗の基本
- ② 令和2年7月11日(土) らくらく外出術～車椅子操作と移乗の基本を学ぼう～
- ③ 令和2年7月18日(土) 杖、歩行器、車椅子の選び方・使い方
- ④ 令和2年7月25日(土) 介助・生活に取り入れる、腰痛予防! ～バランスと姿勢がカギ!～



日時、時間、場所、申込方法等の詳細は事業団ウェブサイトまたは下記問い合わせ先へ。
問い合わせ: なごや福祉用具プラザ 電話: 052-851-0051 FAX: 052-851-0056

事業団ウェブサイト <http://www.nagoya-rehab.or.jp>